

## 1. 福岡空港の概況

## 1. 福岡空港の概況

### 1) 空港施設、空港利用の概要

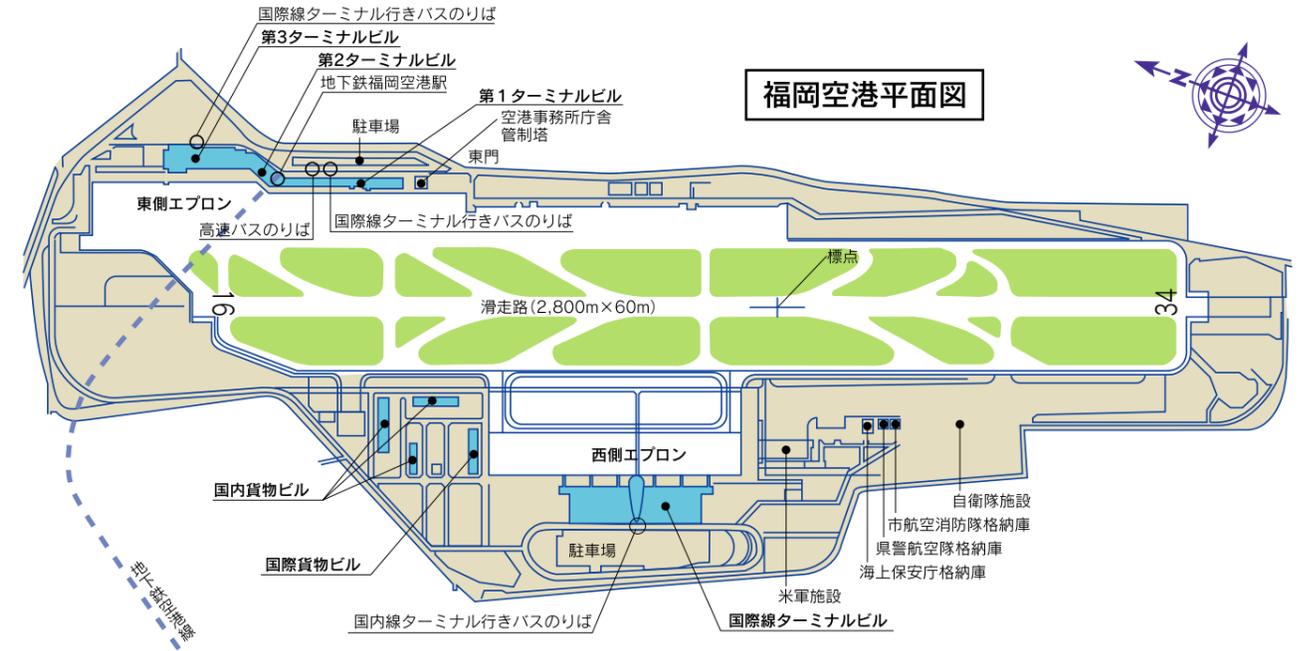
福岡空港は、福岡市東南部(福岡市博多区大字下臼井)に位置し国土交通大臣が設置・管理する第二種空港です。

福岡空港は福岡市中心部に近い場所に位置し(都心から7km)、福岡市都心部から空港へのアクセスは、福岡市地下鉄空港線が国内線ターミナル地域に乗り入れており、JR博多駅からは5分、天神からは11分と非常に利便性に優れた空港です。

福岡空港は国内線25路線、国際線25路線を有し、(平成17年5月現在)、平成15年実績で年間約1700万人の国内航空旅客と約170万人の国際航空旅客に利用され、年間の発着回数は13.6万回(国内線12.3万回、国際線1.3万回)にのぼっています。

一方福岡空港は、その立地から、大きな航空機騒音問題を有しており、実際の利用時間帯は7時から22時となっています。

空港ターミナル、滑走路を挟んで東側に国内線が、西側に国際線がそれぞれ位置しています。ターミナルビルは国内線第一、第二、第三、国際線の4棟、貨物ビルは国内線貨物、国際線貨物の4棟があります。



### 施設の諸元

福岡空港の滑走路は、長さ2,800mの1本で、エプロンの航空機駐機用スポットは43バースあり、誘導路は滑走路を挟んで両側に配置されています。

航空機の進入方式は、海側(北西方向)からのILS(計器着陸装置)

による進入が主であり、その使用比率は7割で、残りの3割は陸側からの進入となっています。

福岡空港の運用時間は24時間となっていますが、実際の利用時間は7:00~22:00の15時間となっています。



空港の概要			
設置管理者	設置:国土交通大臣 管理:国土交通大臣	位置	福岡県福岡市
種別	第二種空港	標点位置	北緯33度35分4秒 東経130度27分6秒
供用開始日	昭和47年4月1日	標高	9.1m
総面積	3,530,850m <sup>2</sup>	滑走路方位	16:方位(160度) 34:方位(340度)
エプロン面積	594,864m <sup>2</sup>	滑走路使用比率	正進入(16側)/副進入(34側):70/30
運用時間	24時間	就航率	98.8%(H14)
基本施設			
着陸帯	2,920m x 300m	誘導路	8,618m
滑走路	2,800m x 60m (B-747クラス対応)	エプロン	43バース(ローディング31, ナイトステイ12)
ターミナル施設			
〈ターミナルビル〉		〈駐車場〉	
旅客ターミナルビル:183,748m <sup>2</sup> 貨物ターミナルビル:23,971m <sup>2</sup>		収容台数:国内線 948台 国際線 897台	

資料)国土交通省資料

1. 福岡空港の概況

1. 福岡空港の概況

路線の現況

福岡空港の平成17年5月現在の国内定期航空路線は、東京、大阪方面、名古屋及び南九州を中心とし、東北、北陸、山陰及び四国も含め25路線300回(発着)／日、国際定期航空路線は、中国・台湾、韓国及び東南アジアを中心に25路線334回(発着)／週が運航されています。福岡空港へ就航する便の航空会社は、国内線が6社、国際線が国内社3社、外国社17社となっています。



利用の状況

航空旅客数は昭和63年に1千万人／年を突破し、その後も順調な増加傾向を示しており平成15年には約1千9百万人／年と昭和63年から約1.8倍に増加しています。また、全国でも羽田、成田、伊丹について全国第4位(H16速報値)となっています。貨物取扱量は昭和63年より増加基調となり、平成10年には20万

トン／年を超えましたが、平成15年までは横ばいです。年間発着回数は、昭和63年以降順調な増加傾向を示しており、平成15年には13.6万回／年に達しています。また、全国でも羽田、成田に次いで全国第3位(H16速報値)となっています。



### 1. 福岡空港の概況

#### アクセスの現状

福岡空港においては、福岡市営地下鉄空港線が国内線ターミナルに乗り入れており、市内中心部の博多から5分、天神から11分でアクセスできます。

小倉や佐賀からもJR特急と地下鉄を乗り継ぐことにより、乗換え時間を考慮しても1時間程度でアクセスすることが可能です。

道路についても、福岡都市高速が利用でき、さらに九州自動車道

にも接続していることから、福岡市や県内主要都市だけでなく、北部九州各地域からも高速道路を利用したアクセスが可能となっています。

これらのアクセス道路網を利用した、バス路線も市内、県内各地の他に北部九州各地域の主要都市及び主要観光地等から運行されています。



■各地から福岡空港までのアクセスの状況

出発地	交通機関	所要時間(分)	運賃(円)	頻度
天神	地下鉄	11	250	5-10分間隔
大牟田	バス	80	1,500	1時間に1本
博多	地下鉄	5	250	5-10分間隔
博多	バス	20	250	1時間に4本
熊本	JR特急+地下鉄	96	4,190(2,550)	
熊本	バス	115	2,000	1時間に1~2本
久留米	JR+地下鉄	42	2,080	
久留米	バス	60	1,000	1時間に3本
小倉	JR新幹線+地下鉄	33	3,550	
小倉	バス	85	1,000	1時間に2本
佐賀	JR特急+地下鉄	54	2,750(1,150)	
佐賀	バス	65	1,000	1時間に2本
日田	バス	80	1,750	1時間に2本
別府・湯布院	バス	100	2,800	1時間に1本

